

# 歴史的まち並みを演出する、一輪挿しづくりワークショップ

対 象 エ リ ア	小浜市遠敷地区
日 時	平成27年2月9日（月） 第1部 10:00～11:30 第2部 13:30～15:00
開 催 場 所	第1部 遠敷池田会館 第2部 遠敷の郷会館
対象者（人数）	遠敷5区の住民 参加者42名（第1部 20名、第2部 22名）
主 催	福井県
協 力	検見坂・池田ふれあいサロン、遠敷の郷ふれあいサロン 遠敷丹後街道まちなみ保存推進会、遠敷公民館 一般社団法人福井県建築士会若狭支部 小浜市
講 師	さばえ米俵研究会 福岡 賢二 氏（鯖江市平井町在住）
ね ら い	日常的に設置できる一輪挿しを手作りし、各家庭の玄関等に設置することで、まち並み景観に連続性を持たせ、まち並みづくりに対する恒久的な意識醸成を図る。
プ ロ グ ラ ム	1. わらについての話を聞く 2. わらを編んで竹筒を取りつけ、一輪挿しを作る 3. 作った一輪挿しを設置する
準 備 物	【一輪挿し材料】 ・ 稲わら（講師が用意） ・ 麻ひも（講師が用意） ・ 竹筒（事前に所定の大きさにカットした）  【一輪挿し製作に必要なもの】 ・ ブルーシート ・ パイプ椅子 ・ わら編み機（講師が用意） ・ はさみ



最初に、ワークショップの趣旨を説明した後、講師からわらに関する話をしてもらった。



講師が手作りしたわら編み機を使って、講師指導のもとわらの壁掛けを作った。



参加者がわら編みをしている間に、建築士会若狭支部の方々に、一輪挿しとして取り付ける竹筒を加工してもらった。



わらで編んだ壁掛けの両端をはさみで切りそろえ、竹筒を取り付けて完成した。



完成した一輪挿しを持って記念撮影をした。



完成した一輪挿しをさっそく飾ってもらった。格子戸に設置することで、遠敷地区の歴史的まち並み風情が演出された。参加者からは、「この風情ある建物を残していきたい」との話をいただいた。

# 小浜市遠敷地区 住教育ワークショップ アンケート結果

Q1 今回のワークショップに参加しようと思ったきっかけは何ですか？  
(複数選択可)

景観保全活動に興味・関心があるから	19	38.0%
まちづくり活動に興味・関心があるから	16	32.0%
伝統文化に興味・関心があるから	13	26.0%
その他	2	4.0%

Q2 遠敷地区の住まいやまち並みについてどう思いますか？  
(複数選択可)

歴史的まち並みに風情を感じる	35	92.1%
良くも悪くも意識をしたことがない	1	2.6%
良い印象はあまり持っていない	1	2.6%
その他	1	2.6%

Q3 今回のワークショップで作った一輪挿しを飾ることで、どのような効果が得られそうですか？  
(複数選択可)

歴史的まち並み風情を感じることができる	21	41.2%
まち並み景観を良くしようという気持ちが芽生える	18	35.3%
伝統的民家と一般民家がうまく調和できる	12	23.5%
特に効果が得られない	0	0.0%
その他	0	0.0%

Q4 今回のワークショップをきっかけに、一輪挿しや行灯など遠敷地区のまち並みをより美しくする活動を、今後もしていきたいですか？  
(1つ選択)

ぜひ活動していきたい	10	29.4%
機会があれば活動していきたい	24	70.6%
特に関心はない	0	0.0%

Q5 景観・まちづくり活動についてのご意見や、本日のワークショップのご感想などをご記入ください。  
(自由記述)

- ・ 大勢がまちづくり活動に参加して、心ひとつにしての物作りは良い。
- ・ 参加すれば得るものがあり、意識も芽生えると思うので次の機会があれば参加したい。
- ・ 玄関に飾って風情を楽しみたい。
- ・ 今まで古い家で恥ずかしいと思っていたが、一輪挿しが似合うので誇らしく思える。
- ・ 一輪挿しの似合う格子戸のある建物を後世に残していきたい。

